

令和6年度ほっとかへんネット須磨 研修

開催日：令和7年2月25日

研修テーマ：「災害ソーシャルワークについて考える」

～防災ゲーム「クロスロード」で知る防災のススメ～

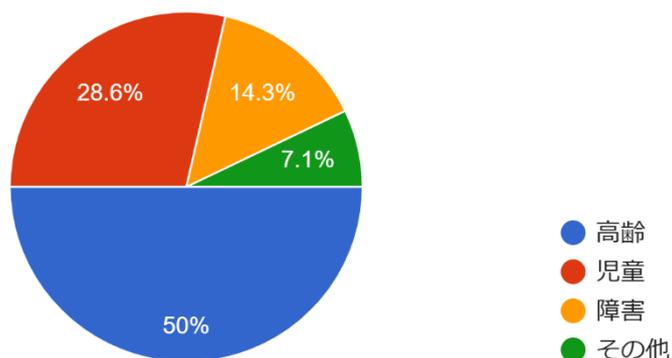
講師：桑原 潤氏

対象・参加人数：ほっとかへんネット加盟施設職員 42名

研修アンケート 回答数：14件

アンケート集計結果

1. あなたの所属分野をご回答ください

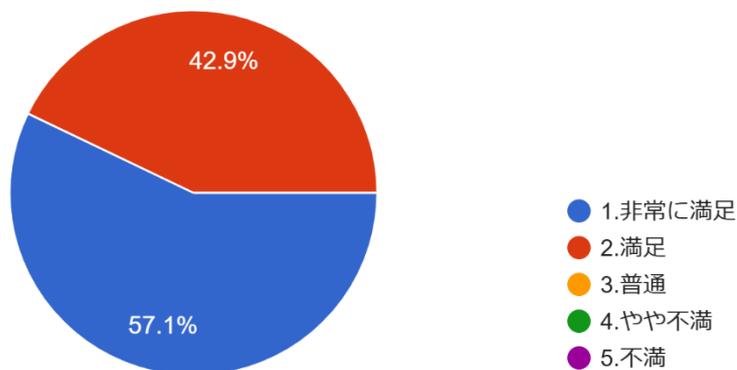


その他の場合 分野をご回答ください 区社協

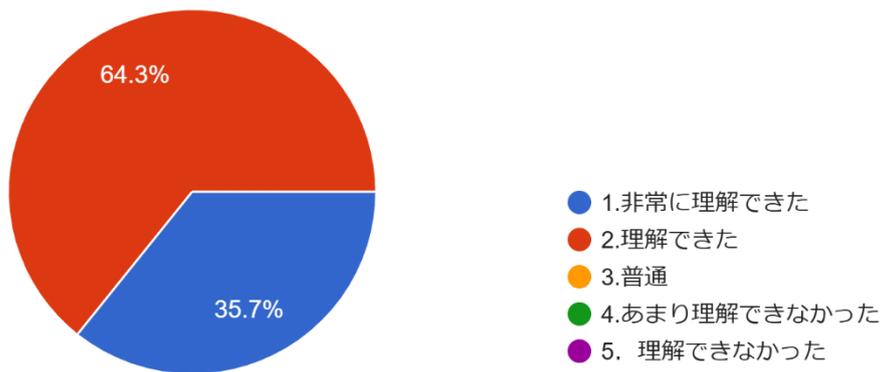
2. あなたの役職についてご回答ください

役職	人数	摘要
施設長・管理者等	5人	園長・館長等
チーム、部門リーダー	4人	主任・課長等
実務者	4人	相談員等
その他	1人	—

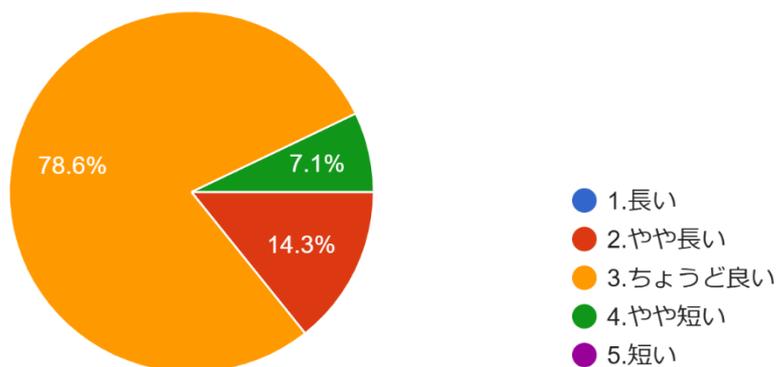
3. 研修内容の満足度について5段階で評価してください。



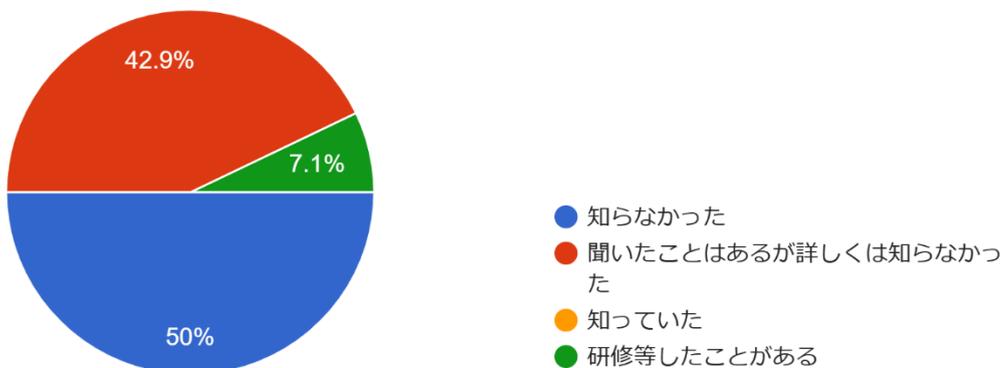
4. 研修内容の理解度について 5 段階で評価してください。



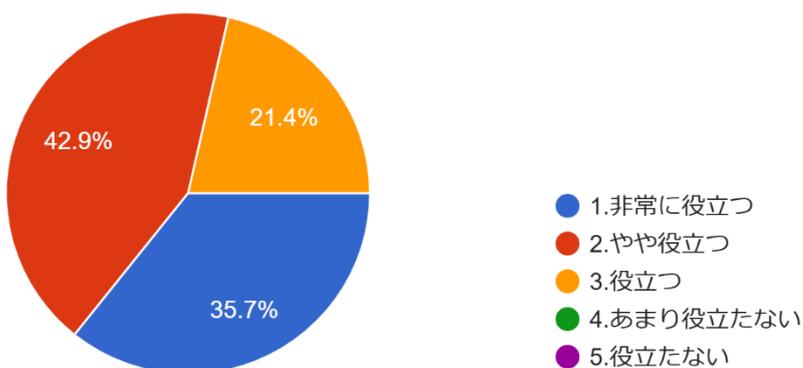
5. 研修時間について



6. 防災ゲーム「クロスロード」を知っていましたか？



7. 今回の研修（クロスロード）は、今後の業務に役立ちそうですか？



8. 上記で回答した理由や、明日からの業務につなげたい内容を教えてください。

(11 件の回答)

- ・普段からコミュニケーションを図り、それぞれの考え方、価値観を共有できるようにしたい
- ・基幹福祉避難所のコーディネーターでもあるので是非参考にさせていただきます。
- ・設問を考えるのが難しいが、災害だけに限らず他の事（利用者対応等）にアレンジして職員間でお互いの考えを知ったり、改めて考えるきっかけになると思いました。
- ・色々な立場や状況を、ゲーム感覚で考える事で職員にも入って来やすいと思うので、実践してみたい
- ・職種やその人の背景によって考え方が異なる事。それぞれの考え方を尊重する事の大切さ。答えや正解がなくても良いと言う事。
- ・瞬時の判断を迫られる訓練と他の方の考えを知れるので質問をアレンジして使えそうだと思ったから。
- ・その時点における求められる判断力を向上させたい
- ・意見交換がスムーズであり、相手と意見が食い違っても嫌な感じがお互いにならない。
- ・瞬時の判断が必要な時が多い、答えは一つではない。ケースバイケースでやりたい。
- ・事前に準備が必要なので簡単に出来るかどうかですが、やってみたいと思います
- ・いろいろな価値観の中で対話することの大切さや災害時、その時、どうするかを考える 決断や対応の難しさを学ぶことができたからです。

9. 今後、どのような研修、施設見学を希望しますか？ (6 件の回答)

- ・今回のような参加型の研修を希望します。
- ・災害時の訓練、地域との連携の取り方
- ・実際に福祉避難所を開設した事業所の見学や話を聞きたい
- ・今回の様に参加者と意見交換ができたり、顔が見える関係づくりができる研修が良いです。 また、防犯訓練とかどの業種にも共通した内容にし、各法人の負担が減るような研修となるとほっとかへんネットに加盟しているメリットを感じてもらえると思います。 施設見学は、コロナ前にあいハート須磨と神戸聖生園・友生園・愛生園、コロナ後は北須磨キッズと今回の離宮ハイツとなっているので、今度は救護施設でしょうか？ ヨハネ寮か顔合わせも含めて今度新しく加わる和光園というのも良いかと思います。 ご検討よろしく願いいたします。
- ・防災
- ・防災関連、

10. この研修に参加されて感じたことなど、どのようなことでも結構ですのお書きください。(10件の回答)

- ゲームで座布団の獲得を目的とするだけでなく、他の人はどんな視点でもって判断したのかや、自分と異なる意見、少数意見に耳を傾けることが大切だと感じました。他者の意見を聞くことで選択を変えたいというメンバーもいて、多様な価値観に触れることで自分の選択の幅や判断材料が増えるのだと思いました。
- 実際その場にならなければ判断は違う場合もありますが、今の自分の考えを知ることができ周りの意見を聞いて置かれている境遇や経験から参考になることも多かったです。大切なことはそれぞれの意見を尊重してベストな答えが見出せること。今回の災害ではより皆で考えて尊重してより良い策を導くことが必要と感じました。
- 分野の違う方々と同じ事について話し合い、それぞれの観点からのお話が聞けたことと、重い内容ながらゲーム性があることで楽しく進めることができ、とても良かったです。有意義な研修をありがとうございました。
- 人それぞれで考え方の違いを感じました。
- 阪神淡路大震災の時の市職員の出勤率のデータがとても気になりました。消防職員野出勤率が非常に高かったのですが、それは勤務地や住居が出勤しやすい場所だったのでしょうか？役所職員と差がありとても気になってしまいました。使命感で出勤されていたなら感謝しかありません。
- 準備から当日の運営まで、本当にお疲れ様でした。多くの方に参加いただき、グループ内で意見を交わす機会が多かったので良かったです。ほっとかへんネットとして具体的な活動ができたことを嬉しく思います。
- 高齢、障害、保育等、様々な方たちの意見を聞いて良かったです。
- 改めて災害について考える機会になった。
- 防災以外の分野でもできるかなと感じた。また他のバージョンにも参加してみたいです。ありがとうございました。
- 障害のある方の避難で、障害者に関わっている職員さんは避難所には連れて行かない、いけない。他の人に迷惑かけるかもしれないし本人も場所が違う事で混乱するかなど話ししていたことが、現実でもあるのかな？と思いました。最後に連れて行ってみないとわからないじゃないの。という意見が聞けたり 近所の人に声を掛けられて小学校の保健室へ案内してくれる方がいたり、障害あるなしかかわらず人に優しい地域でありたいし このように非常事態の時こそ自分の行動が問われると改めて思いました